

中国語 (Chinese)

中国語入門 (Introductory Chinese)

(工((電A)1年))

范莉馨・非常勤講師/全学共通教育センター

1単位 前期 火 9・10

(平成19年度以前の授業科目:『中国語入門』)(平成16年度以前(医保は17年度以前)の授業科目:『中国語(1)』)

【授業の目的】 中国語学習の基盤となる正しい発音, 基礎文法を学んだ上で, さまざまな場面を思い描きながら基本表現をゆっくり確実に身につけていく。また, 中国人の考え方, 生活習慣, 中国の文化, 中国の社会事情などについて紹介し, 隣国である中国に対する理解を深める。

【授業の概要】 テキストで新出単語・文法事項を学習し, 発音練習をした後, 教師と学生, あるいは学生同士による会話練習に最も重点を置き, 会話運用能力を高めていく。また, 中国に関するビデオ教材やCD等も適宜使用し, 中国事情の紹介をする。

【キーワード】 中国語, ピンイン, 中国事情

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. 中国語のローマ字表記法(ピンイン)に慣れ, 正しい発音を確実に身に付ける。
2. 初歩的な中国語を使って, 中国人とコミュニケーションができる。

【授業の計画】

1. ガイダンス
2. 発音 A・B
3. 発音 C・D
4. 第1課
5. 第2課
6. 第3課
7. 第4課
8. 第5課
9. 中間テスト
10. 第6課
11. 第7課
12. 第8課
13. 第9課
14. 第10課
15. 期末試験

16. 総括授業

17. 第一回の授業で詳細な授業計画を説明するので, 必ず出席すること。

【教科書】 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友・スリム版①』(朝日出版社)1500円。
CDがあるので必ず購入すること。

【参考書等】 [参考資料]

【成績評価の方法】 小テスト, 期末試験, 授業への取り組み状況により総合的に評価する。具体的な点数配分については, 出席や授業に対する姿勢などを含めた平常点が10%, 中間考査が40%, 期末試験が50%ということになっています。

【再試験の有無】 有

【受講者のメッセージ】 授業中は恥ずかしがらず, 積極的に声を出して練習しましょう。予習・復習時には, 教科書付録の音声教材を活用して下さい。繰り返して聞くことで中国語の音とリズムに慣れ, 「聴き取る能力」と「話す能力」を養うことができます。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220959>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 范。

Chinese

Introductory Chinese

(工((電A)1年))

名 姓・PART-TIME LECTURER / CENTER FOR GENERAL EDUCATION

1 unit 前期 火 9・10

(平成 19 年度以前の授業科目:『中国語入門』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『中国語(1)』)

Target) 中国語学習の基盤となる正しい発音, 基礎文法を学んだ上で, さまざまな場面を思い描きながら基本表現をゆっくり確実に身につけていく. また, 中国人の考え方, 生活習慣, 中国の文化, 中国の社会事情などについて紹介し, 隣国である中国に対する理解を深める.

Outline) テキストで新出単語・文法事項を学習し, 発音練習をした後, 教師と学生, あるいは学生同士による会話練習に最も重点を置き, 会話運用能力を高めていく. また, 中国に関するビデオ教材や CD 等も適宜使用し, 中国事情の紹介をする.

Keyword) 中国語, ピンイン, 中国事情

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal)

1. 中国語のローマ字表記法(ピンイン)に慣れ, 正しい発音を確実に身に付ける.
2. 初歩的な中国語を使って, 中国人とコミュニケーションができる.

Schedule)

1. ガイダンス
2. 発音 A・B
3. 発音 C・D
4. 第 1 課
5. 第 2 課
6. 第 3 課
7. 第 4 課
8. 第 5 課
9. 中間テスト
10. 第 6 課
11. 第 7 課
12. 第 8 課
13. 第 9 課
14. 第 10 課

15. 期末試験

16. 総括授業

17. 第一回の授業で詳細な授業計画を説明するので, 必ず出席すること.

Textbook) 董燕・遠藤光暁『ともだち・朋友・スリム版①』(朝日出版社)1500円.
CDがあるので必ず購入すること.

Reference) [参考資料]

Evaluation Criteria) 小テスト, 期末試験, 授業への取り組み状況により総合的に評価する. 具体的な点数配分については, 出席や授業に対する姿勢などを含めた平常点が 10%, 中間考査が 40%, 期末試験が 50%ということになっています.

Re-evaluation) 有

Message) 授業中は恥ずかしがらず, 積極的に声を出して練習しましょう. 予習・復習時には, 教科書付録の音声教材を活用して下さい. 繰り返して聞くことで中国語の音とリズムに慣れ, 「聴き取る能力」と「話す能力」を養うことができます.

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220959>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ 范 .